



# 国交労組

## 職場・地域のなかまとともに 旺盛に春闘にとりくもう

11月28～29日にかけて、国土交通労組は第1回拡大支部代表者会議を開催しました。会議には支部・地協・本部あわせて70人(うちWeb参加は30人)が参加しました。会議では、秋季年末闘争の主な経過と到達点を確認するとともに、春闘方針、体制拡充のとりくみ、組織強化・拡大について活発な議論が交わされました。

### 職場課題を把握し とりくみをすすめる

本部から、秋季年末闘争の主な経過と到達点について報告を行ったのちに、情勢や職場課題について議論しました。

参加者からは、「今年、地方整備局の増員を勝ちとったのは、体制拡充署名などの運動をすすめてきた長年の成果。地道にがんばれば変えられる(関東建設)」、「政府がデジタル庁にて行おうとしているのは、システム統一という名の大胆な行政の効率化など、構造改革への道。今後、注意深く議論していくことが必要(近畿地協)」、「職場オルグを実施したところ、多くの組合員が参加し多数の意見をいただいた。コロナ禍でもオルグが重要だと認識(九州気象)」、「Web環境が整っていないなか、テレワークがすすめられ、職場のなか

まも戸惑った。多様な働き方が求められるなか、より良い職場環境づくりにつなげていく必要がある(四国港湾空港)」、「緊急打電行動において、FAX送付用の文例を作成したところ、分会からとりくみややすかったとの評価を受けている(北海道航空)」、「職場では自分だけの仕事をこなしている状況があり、1つのチームとしてやらなければならぬ。新型コロナウイルス禍で職場がさらに殺伐としている(四国建設)」など情勢の補強、職場課題を全体で共有し21春闘にむけて、とりくんでいくこと

### 体制拡充署名を さらに発展させよう

体制拡充署名のとりくみについて昨年の筆数より上回り過去最高となったことや、参議院の国土交通委員会委員長(江崎孝議員)との面談により職場の実態をもとに体制拡充の必要性を訴え、採択実現を要請するなど、より発展したとりくみが実現できたことを確認しました。

参加者からは、「支部の目標数はクリアしているが、職場のなかでのとりくみが弱い。意義、目的が十分浸透しているとはいえない。組織的にとりくんでいく必要がある(建設研究機関)」、「地協では、ブロック、地域のとりくみと民間労組との共同のとりくみをいか行おうか議論している。各支部で職場外の要請先を決めて責任を持って対応してい

る(近畿地協)」など、とりくみを強めていくことを確認しました。

### 基本的なとりくみを 継続する執行体制を

本部から組織実態、組織拡大につながった事例の紹介やとりくみの具体化などを提案しました。

参加者からは、「組織拡大・強化は難しく考えるのではなく、やれることは何でもやるチャレンジ精神が重要。建設職場で行っている封筒作戦を実施し、拡大につながっている(関東港湾空港)」、「10月採用者の12月中の加入をめざす(九州運輸)」、「若手組合員の不安や悩みを共有する場として『つながるミーティング』を行った。若手組合員とともに未加入者の若手に呼びかけることが、組合加入に効果的(九州建設)」など、組織拡大・強



### 中央委員会公示

国土交通労働組合同規約第三〇条の規定にもつき、左記のとおり、第十回中央委員会を開催することを公示する。

二〇二〇年十二月二〇日  
国土交通労働組合 中央執行委員長 安藤高弘

二〇二〇年二月六日九時～十七時  
国土交通労働組合  
東京都千代田区霞ヶ関二一―三  
電話〇三―三五八〇―四二四四  
①二〇二一年春闘方針(案)  
②その他  
本委員会はWeb会議により開催します

一、日 時  
二、場 所  
三、議 題  
四、そ の 他

### 選挙公示

国土交通労働組合同規約第四〇条の規定にもつき、左記により二〇二〇年度国土交通労働組合の役員選挙を行うことを公示する。

二〇二〇年十二月二〇日  
国土交通労働組合 選挙管理委員会

一、役員定数  
二、候補者資格  
三、届 出 等  
四、立候補者の公表  
五、投票方法  
六、投票日  
七、投票の留意事項  
八、そ の 他

中央執行委員二名  
組合員  
立候補届出書に立候補者氏名(自署)など必要事項を記載し二〇二〇年一月十八日十八時までに書面をもって選挙管理委員会まで届け出ること  
中央委員会開会までに書面をもって公表する  
郵送による投票  
投票は、投票用紙に必要事項を記入し、投票用封筒(内封筒)に封入したうえでレターバック(外封筒)に封入し、郵送にて選挙管理委員会に提出することとする  
投票用紙及び投票用封筒、レターバックは、投票日前日までに選挙権を有する者(中央委員)に郵送により配布する  
二〇二〇年一月二十五日～二月一日(投票期間内消印に限り有効)投票用封筒(内封筒)には何も記載しないこと  
レターバック(外封筒)には、事前に報告する選挙権を有する者(中央委員)の氏名、住所を記載すること  
この選挙に必要な事項は、選挙規則の定めるところによる

化のとりくみの参考になる発言、決意表明がありました。

組織拡大・強化は国土交通労組の最重要課題です。新規採用者や未加入者への声かけなどを確実に行うことを確認しました。

やらなければならない課題が山積しています。その解決には基本的なとりくみを継続して、



各組織の足固めを行うことが重要です。業務の多い現状を、様々な創意工夫をもって解決していくことが必要です。各職場の効果的などりくみを引き続き共有し、組織拡大・強化をもとに、職場だけでなく地協や地域の国公等とのなかまとも連帯して今後のとりくみをすすめていくことを意志統一して、会議を終了しました。

2020年は新型コロナウイルスで はじまり、終息を迎えぬまま幕を閉じようとしている。4月には緊急事態宣言が出され、経済活動、国民生活を一定制限することで感染防止対策がとられた▼10万円の定額給付金、持続化給付金、雇用調整助成金等の支援策が講じられたが、徐々に政府は経済対策に軸足を移し、トラベルやイトナとGOTO事業を推進した。年末年始の全国一斉停止はしたものの、トラベル事業の6月までの延長方針は崩さず、3次補正では1兆円を追加計上した▼現在は「第3波」の渦中にある。長引くコロナ不況による倒産、解雇、賃下げ、それらを起因とする生活困窮と自殺者の急増。関連産業や企業など一定の効果があることは否定しないが、こつした恩恵すら受けられず、困窮する人たちが救われる手だてはないのだろうか▼持続化給付金等の事務委託では、受注会社の中抜き疑惑や政治家と企業との癒着問題が明るみに出た。コロナ禍に乗じた「政治の私物化」も絶対に許してはならない。すべての国民が安心して暮らせる社会をめざし、早速、21春闘勝利にむけて、準備しようではないか。(Y)

情勢補強を發言する  
関東建設・葛西副委員長

重要性を發言する  
近畿地協・平田議長

新規採用者の加入を  
決意表明する  
九州運輸・関屋副委員長